

V1て

V2ます

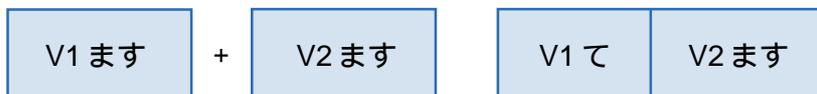
基 本

例 文

- ① あしたわたしは^{えき} 駅で^{とも} 友だちに^あ 会って、
いっしょにコンサート^い に行きます。
- ② A: あしたの^{よてい} 予定を^{おし} 教えてください。
B: 朝^{あさ} 7時に^じ 起きて、^お 食堂で^{あさ} 朝ごはんを
食^た べて、^じ 8時から^{れんしゅう} 練習します。
- ③ わたしは^{にほん} 日本へ^い 行って、^み すもうを見たい
です。
- ④ (折り紙^お の^{がみ} 折り方^お を^{かた} 教えて^{おし} いる)
二つに^{ふた} 折^お って、^き はさみで^き 切^き ってください。
- ⑤ あそこ^{すわ} に^{べんとう} 座^た って、^た お弁当^た を^た 食べ^た ましょう。
- ⑥ わたしは^{まいにち} 毎日^{あちる} 歩^{あちる} いて^{がっこう} 学校^い へ行^い きます。
- ⑦ テープ^き を^き 聞^き いて、^{にほんご} 日本語^{べんきょう} を^{べんきょう} 勉^{べんきょう} 強^{べんきょう} します。

解 説

A. 「Vて」で二つ以上の文をつなぐことができる。(例文①～⑦)



B. Vの形(「ます」「ました」「ています」「ましょう」「たいです」「てください」など)に関係なく、「Vて形」にすることができる。(例文①～⑦)

C. 順に行われる動作を述べるときに使う。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文①②③④)

D. 動作が行われる状態を述べるときに使う。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文⑤)

E. 動作が行われるときの方法や手段を表す。このとき、2つの動作をする人は同一。(例文⑥⑦)

例 文

⑨ 夏休みに中山さんは海でダイビングをして、山本さんは山に登りました。

⑩ 田中さんは東京に住んでいて、山本さんは大阪に住んでいます。

⑪ 雨が降って、野球ができませんでした。

⑫ 大きい台風が来て、学校が休みになりました。

解 説

F. 二人以上の人の動作、状態、二つ以上のできごとを並列して述べるときに使う。(例文⑨⑩)

G. 「V1て、V2ます」で、「V1て」が原因、「V2ます」が結果であることを表すことができる。

(例文⑪⑫)

先生へ

「Vて」と「Vてから」の違い。

	Vて	Vてから
順次動作 動作の並列		×
連続できる文の数	複数	2文まで
前後関係の明確さ		

例 田中さんが来て、木村さんが帰りました。

田中さんが来てから、木村さんが帰りました。

原因と結果の関係を表す「Vて」と「から(理由)」の違い。

	Vて	Vから
因果関係の明確さ		
客観性		

例 バスが混んでいて、乗ることができません。

バスが混んでいるから、乗りたくないです。

文と文をつなぐときに「と」を使わないように注意すること。

【関連項目】

- 活-01 Vて形
- 文-30 Aくて/ANで/Nで
- 文-33 Vてから
- 文-32 Vないで

【「れんしゅう編」の練習】

- 10-4 日曜日の計画
- 10-7 どうやってしますか